

放射能関係のお知らせ

2017年1月2回(B週)

お届け日:2017/1/9~1/13
発行日:2016/12/19



本誌は、カタログ掲載の青果について、12/15(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果 実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・遠州
		検査予定	佐原・海上
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果 菜	きゅうり	品目で検査済	茨城・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
		検査予定	新ひたち野
	スナップえんどう	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	茨城・元気会・沃土・佐原
ミニトマト	品目で検査済	茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭	
	果菜類で検査済	野菜くらぶ・沃土・村悟空・和郷	
葉 菜	大葉	品目で査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	たまつくり・海上・三浦E M・遠州
		葉菜類で検査済	あいづ・谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・村悟空・佐原・和郷・南伊豆
		品目で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ会・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
	小松菜	葉菜類で検査済	たまつくり・やさと・和郷
		サニーレタス	葉菜類で検査済
	春菊		品目で検査済
		葉菜類で検査済	たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
	セロリ	品目で検査済	とびあ浜松
	ターサイ	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
	チンゲン菜	葉菜類で検査済	あゆみの会・沃土・和郷・遠州
		検査予定	こまち
	菜の花	葉菜類で検査済	南伊豆
		検査予定	小田原
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ
	ねぎ	品目で検査済	常総・南埼玉
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・有機農法ギルド・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街・風土の会
	白菜	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・常総産直・八街・風土の会
	ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・村悟空・南埼玉・海上・佐原・和郷・サンド旭
ヘビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	
ほうれん草	品目で検査済	新しいわて・草の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会	
みず菜	品目で検査済	ふきのとう	
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・佐原	
芽キャベツ	葉菜類で検査済	南伊豆	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ルッコラ	葉菜類で検査済	茨城・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ
		葉菜類で検査済	茨城・沃土・海上・佐原・サント旭
根菜	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・佐原
		根菜類で検査済	茨城・沃土・海上・和郷
	ごぼう	品目で検査済	茨城・清瀬
		根菜類で検査済	常総・谷田部・たまつくり・やさと・佐原・和郷
	さつまいも	品目で検査済	谷田部・佐原
		根菜類で検査済	常総・茨城・たまつくり・和郷・有機農法ギルド
	里芋・八つっ子	品目で検査済	茨城・あゆみの会・佐原
		根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八街・風土の会
		検査予定	沃土
	しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷
	大根	品目で検査済	有機農法ギルド・沃土・海上・佐原・和郷
		根菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・村悟空・八街・風土の会
		検査予定	三浦EM
		長芋	根菜類で検査済
	人参	品目で検査済	常総・あゆみの会・和郷・清瀬
根菜類で検査済		谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・沃土・村悟空・海上・佐原・八街・農法の会・風土の会	
にんにく	品目で検査済	八峰園・田子	
ほしいも	品目で検査済	常陸	
れんこん	品目で検査済	常総・有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016 年産の下記の産地・銘柄は**すべて不検出**です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ
宮城県: JAみどりのの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県: JA 北蒲みなみの新潟こしひかり・JA ささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA 魚沼みなみの魚沼こしひかり・JA えちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA 佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出 2 検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果の検査について

＊北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以东の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
＊旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
＊検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

＊yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
きのこセット	品目で検査済	小川きのこ・丸金グループ・三幸・渡辺きのこ
徳用きのこセット	品目で検査済	谷田部・丸金グループ *しいたけ・しめじから放射能が検出されました
なめこ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済	ささかみ
山えのき	品目で検査済	有倉

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

＊酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/12/14	11
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
徳用きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
徳用きのこセットのしめじ			
ぶなしめじ	谷田部	2016/12/14	3.1
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアード'栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

＊白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120 粒: 185523 240 粒: 185531	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ きなり 251 304	ひき肉と春雨のオイ スターソース炒めセッ トのしいたけ	2016/10/31	3.8
コトコ きなり 262 303	体ポカポカ味噌鍋セ ットのしいたけ		
コトコ きなり 111147 308 きなりセレ外 341100	食べきり寄せ鍋セット のしいたけ		
コトコ きなり 259 302	坦々マーボー豆腐セ ットのしいたけ	2016/12/14	11
コトコ きなり 261 112143	野菜たっぷりのつけご はんセットのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

放射能基礎知識

忘れがちな、放射能の基礎知識を数回にわたり、お知らせいたします。

被ばくとは その5

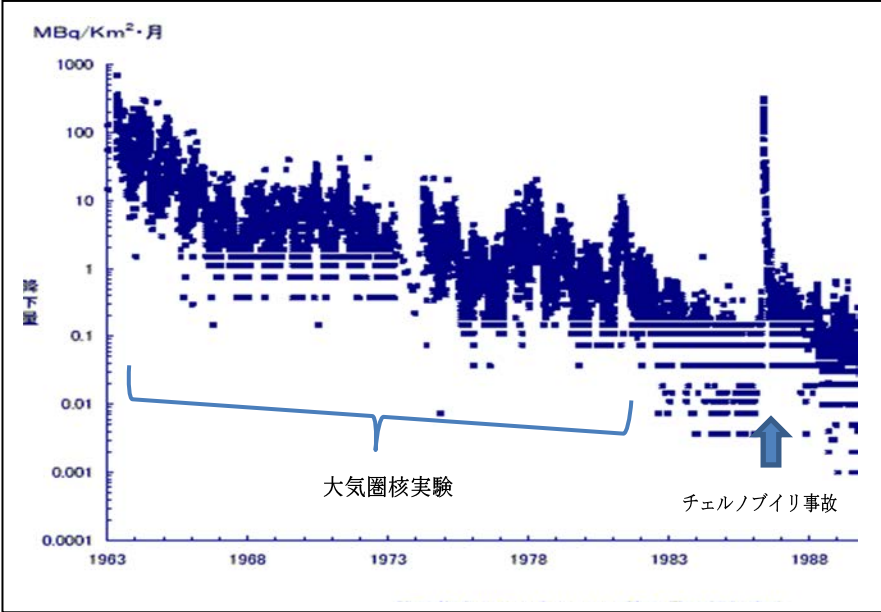
放射能は、もともと放射線をだせる能力のことをさしますが、広義には放射性物質も含みます。放射線を出さない元素もあり、同位体といいます。たとえば、セシウムには実に 39 種類の同位体があり、天然に存在するのはセシウム 133 だけです。その他は、放射線を出す放射能で、もっとも長い半減期を有するセシウムは、セシウム 135 で、230 万年になります。このように長い半減期をもつ同位体を「長寿命核分裂生成物」と呼びます。

● 放射線の影響

放射線の影響は、「身体的影響」と「遺伝的影響」にわかれます。身体的影響は、放射線を受けた人、被ばくした本人に影響が表れることです。一方、遺伝的影響とは、被ばくした人の子どもや孫に現れる影響のことです。遺伝的影響は、被ばくした人の生殖に関連した器官が被ばくして起こります。身体的影響には、早期影響と晩発影響とがあります。早期影響の場合は、大量の放射線を受けた時にみられ、原爆の爆発の際に近くにいた人や原発事故の時に対応していた作業員などに表れました。晩発影響は、放射線に被ばくしてから、数か月後以降に表れます。白内障や白血病その他のガンなどが代表的な影響とされています。1895 年にX線が発見されて以降、放射線および放射能に対する障害が放射能を扱う人たちの発病によって、危険性がわかってきました。放射能を、皮膚疾患に塗付したり、授乳期の乳腺症に使われたり、時計の文字盤に夜光塗料として使用したりするのは放射能の害が知られていなかった時代の使用方法です。そのような使用方法から、ガンの発症が特異に増えているなどがわかり、放射能の危険性が知られるようになりました。*放射能見えない危険 草間明子著 読売科学選書 28 を参考にしました。

● 大気圏内核実験

大気圏内核実験は、1980 年に最後に行われていません。1963 年に部分核実験停止条約に調印されるまで、大気圏内核実験はソ連とアメリカで全体の約 80%が実施されてました。この時期のフォールアウトで、北半球は広く広がったといわれています。(下図は、【測定データで見る「過去の出来事」】を改編) <http://search.kankyo-hoshano.go.jp/dekigoto.html> この時期、発生したフォールアウト(放射性降下物)を食物を通して体内に取り込んでいました。恒常的に食物の計測を行ったのはチェルノブイリ以降です。



行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1010)」(2016/3/29～12/2 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
原木シイタケ:岩手県遠野市・千葉県君津市ほか 1.8～84Bq/kg
タケノコ:岩手県陸前高田市 23～47Bq/kg
ナメコ:栃木県栃木市・千葉県香取市 3.4～27Bq/kg
アメリカナマズ:茨城県霞ヶ浦(西浦) 54Bq/kg
スズキ(海の魚):茨城県利根川(神栖市太田地先)ほか 0.35～43Bq/kg
イノシシ肉:千葉県君津市・茨城県石岡市ほか 4.5～43Bq/kg
- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
大豆:福島県本宮市・福島市ほか 3.9～30Bq/kg
ムキタケ:福島県会津美里町 12～23Bq/kg
キャベツ:福島県富岡町 21Bq/kg
ヤマメ:福島県桑折町(阿武隈川水系) 37Bq/kg
イワナ:福島県福島市(阿武隈川水系)ほか 29Bq/kg
- 国立医薬品食品衛生研究所の調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
原木シイタケ:千葉県流通品 34Bq/kg
乾燥シイタケ:千葉県流通品 11～50Bq/kg

11月～12月の放射能検査状況

12月は、しいたけからはお料理セットのしいたけから2件(5、6、3Bq/kg)の検出がありました。
乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。
検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)					
	11月	12月		11月	12月
青果	58 (0)	10 (0)	卵	0 (0)	0 (0)
しいたけ	6 (4)	5 (2)	魚介類	34 (0)	11 (0)
他のきのこ類	9 (0)	1 (0)	飲料水・飲料	12 (0)	8 (0)
米・米飯類	2 (0)	0 (0)	乳幼児用食品	55 (0)	21 (0)
牛乳・乳製品	15 (0)	3 (0)	その他加工食品	245 (1)	53 (0)
肉類	0 (0)	0 (0)	合計	436 (5)	112 (2)

2016年度の放射能検査の状況(2016 年 4 月～12 月)

青果	2016 年 5 月に小田原のバレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2016 年 1 月に小田原の伊予柑から 5.3Bq/kg、2016 年 2 月に小田原のはっさくから 4.8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけ(3. 1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3. 3～3. 5 Bq/kg)で放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 67 検体の検査を行いました。 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3. 9、4. 1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っておりますが、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3. 4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。
	<その他> 2016 年 11 月にサプリメントのブルーベリー & ルティン(6. 5 Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について
パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以东の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物